

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後 2020 年 7 月 31 日、9 月 18 日、10 月 30 日（いずれも WEB 開催）に開催された計 3 回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動について、執筆時点の 2020 年 11 月上旬までの当会の動きとして報告させていただきます。

1. 新型コロナウイルス感染症に対する対応について

前回ご報告した 6 月末時点では、第 1 波が落ち着き、透析患者の COVID-19 の増加はほとんどない状況でした。その後も「日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染対策合同委員会」では、透析患者の COVID-19 に関する状況の情報収集および週 1 回のホームページ上での集計報告を現在まで行っておりますが、7 月の第 2 波の襲来に伴い透析患者においても COVID-19 陽性例は増加、死亡者も増え、11 月 6 日時点で感染者数は 297 名、死亡者数は 44 名となりました。6 月 26 日時点との比較では、それぞれ 185 名、24 名の増加となります。常任理事会もこれに伴い、予定されていた 3 回はいずれも WEB 開催となりました。

この間、日本透析医会では、7 月 9 日に「COVID-19 の第 2 波に備えた透析施設での感染対策の徹底について（お願い）」、10 月 8 日に「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第 5 報）」をホームページで公開し、また日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染対策合同委員会でも 7 月 31 日に「COVID-19 新規感染者数増加に伴う透析施設での感染対策の徹底について（お願い）」、8 月 14 日に「COVID-19 新規感染者数急増に伴う透析施設での感染対策の徹底について（お願い）」により、透析関係者に対する注意喚起を行いました。

膨大な COVID-19 関連論文が出ている中で、透析施設の医師やメディカルスタッフの臨床に資すると思われる論文の要約を日本透析医会ホームページへ 7 月より掲載を始めました。10 月末時点で 16 編の論文をご紹介します。

以上を含めた日本透析医会および新型コロナウイルス感染対策合同委員会の 10 月末までの活動の詳細を別表にお示しします。

10 月には COVID-19 の行政上の対応が見直され、措置入院の対象が絞り込まれ、高齢者や基礎疾患を有するなど重症化リスクのある者のみとなりましたが、透析患者についての対応は従来通りとなりました。

別表 新型コロナウイルス感染症への取組状況

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
7月 2日	【症例報告 3】 「人工呼吸管理を要した COVID-19 が改善した透析導入患者の一例」(HP)	
3日	【論文紹介 1】 「2003年に流行した SARS-CoV-1 と新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の感染持続能力の評価」(HP)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月3日時点) (HP)
7日		新型コロナウイルス感染対策合同委員会と日本臨床工学技士会、日本災害時透析医療協働支援チームとの共同調査「透析医療機器および個人防護具に関する現況調査」の結果報告 (HP)
9日	COVID-19の第2波に備えた透析施設での感染対策の徹底について (お願い) (HP) 【論文紹介 2】 「鼻咽腔検体と唾液検体での PCR ウイルス量の比較」(HP)	
10日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月10日時点) (HP)
17日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月17日時点) (HP)
20日	【論文紹介 3】 「SARS-CoV-2 感染に対する偽陰性検査結果—その難しさと意味するもの」(HP)	
27日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月24日時点) (HP)
31日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月31日時点) (HP) COVID-19 新規感染者数増加に伴う透析施設での感染対策の徹底について (お願い) (HP)
8月 4日	【論文紹介 4】 「COVID-19 透析患者の症状および転帰」(HP)	
7日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月7日時点) (HP)
11日	【論文紹介 5】 「COVID-19 入院患者に対するデキサメタゾンの効果」(HP)	
14日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年8月14日時点) (HP) COVID-19 新規感染者数急増に伴う透析施設での感染対策の徹底について (お願い) (HP)
18日	【論文紹介 6】 「SARS-CoV-2 に感染した血液透析患者の臨床的特徴と短期予後～Brescia Renal COVID Task Force からの報告～」(HP)	
21日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年8月21日時点) (HP)
25日	【論文紹介 7】 「血清抗体検査での血液透析患者における無症候性 COVID-19 感染の割合」(HP)	
28日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年8月28日時点) (HP)
9月 1日	【論文紹介 8】 「COVID-19 の診断と予後における予測モデル」(HP)	
4日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月4日時点) (HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
8日	【論文紹介 9】 「武漢における血液透析患者の臨床像と医学的介入」 (HP)	
11日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月11日時点) (HP)
15日	【論文紹介 10】 「都市における血液透析施設での COVID-19 のアウト ブレイク」 (HP)	
18日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月18日時点) (HP)
23日	【論文紹介 11】 「COVID-19 腹膜透析患者の腹膜透析排液」 (HP)	
25日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月25日時点) (HP)
29日	【論文紹介 12】 「SARS-CoV-2 に対する mRNA ワクチンのフェーズ 1 試験」 (HP)	
10月 2日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月2日時点) (HP)
6日	【論文紹介 13】 「COVID-19 のウイルス放出と伝染性がいつから始ま るのか？」 (HP)	
8日	新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応 について (第5報) (HP)	
9日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月9日時点) (HP)
13日	【論文紹介 14】 「唾液検体と鼻咽頭検体による SARS-CoV-2 の定量 測定」 (HP)	
16日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月16日時点) (HP)
20日	【論文紹介 15】 「透析ユニットでの COVID-19 をコントロールするた めの鍵」 (HP)	
23日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月23日時点) (HP)
27日	【論文紹介 16】 「COVID-19 成人患者へのレムデシビル治療：リビ ン グシステムティックレビュー」 (HP)	
30日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月30日時点) (HP)

なお、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議に事実上代わるものとして、7月に発足した新型インフルエンザ等対策有識者会議新型コロナウイルス感染症対策分科会に、病院団体代表として太田圭洋常務理事が構成員として参加することになり、国の方針についてもいち早く知りうる状況になりました。

執筆の11月上旬現在、すでに第3波の襲来が始まっていると考えられる状況ですが、今後とも、行政、関係各団体と連携、協議しながら対応するとともに、的確な情報発信を努めてまいりたいと思います。今後は一層地域単位の行政と一体となった対応が重要になってくると思われしますので、会員各位におきましてはよろしく申し上げます。

2. 日本透析医会秋期研修セミナーについて

2020年10月4日に高松で研修セミナーを開催する予定でしたが、COVID-19の状況を鑑み中止となりました。これに代わるものとして「2020年秋期研修セミナー 透析医療における Current Topics 2020 (WEB開催)」を開催し、WEB配信を2020年10月15日～11月6日の期間行いました。

3. 厚生労働科学研究の採択

令和2年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）に筆者（山川）が研究代表者の「慢性腎臓病患者（透析患者等を含む）に特有の健康課題に適合した災害時診療体制の確保に資する研究」が採択されました。これまでの日本透析医会を中心とした透析関連団体および透析施設における災害時の活動を踏まえ、透析医療を含む慢性腎臓病患者に対する災害時診療体制の確保に関する研究を行います。各種調査も予定しておりますので、医会会員をはじめ透析施設の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。